

少花粉スギ・ヒノキコンテナ苗の生産と利用促進

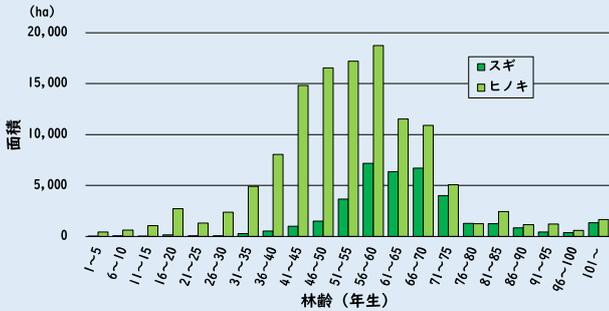
岡山県農林水産総合センター 森林研究所

背景と目的

人工林の多くが伐採適期を迎えている

花粉低減の対策として伐採・利用を推進

少花粉スギ・ヒノキへの植替え促進



岡山県のスギ・ヒノキ人工林の林齢別面積

少花粉スギ・ヒノキとは？

従来の品種に比べ、花粉生産量が極めて少ない品種を選抜

ヒノキ



スギ



在来品種

少花粉品種

コンテナ苗の生産技術の検討

伐採・再造林の推進

裸苗

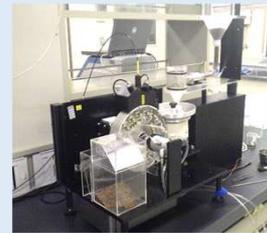
- ・ 苗畑で育成
- ・ 植栽適期が限定的
- ・ 植穴が大きく、植栽の労力が大きい

コンテナ苗

- ・ 容器で育成
- ・ 植栽適期が長い
- ・ 植穴が小さく、植栽の労力が小さい

少花粉品種による再造林

➤ 充実種子の選別



充実種子選別機



少花粉ヒノキ種子の発芽率向上

苗木生産技術の検討と普及促進の取組

➤ 育苗期間の短縮(1年育苗)

- 温室育成**
- 早期の直接播種
 - 冬期間、二重温室内で育成
 - 自動かん水による省力化



温室育成によるコンテナ育苗の例

➤ 光環境がコンテナ苗の生育に与える影響

6月上旬、各コンテナトレイ3枚を、

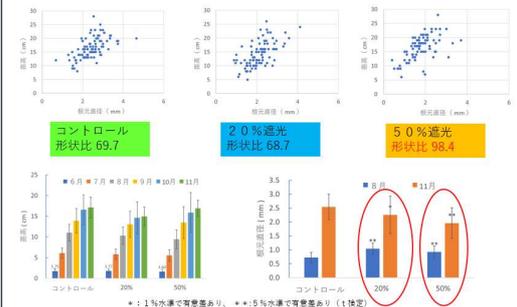
- 遮光無し
- 20%遮光
- 50%遮光

に設置し、10月下旬まで育成光条件の影響を調べた

図 4月上旬 播種(遮光無し)

図 6月上旬～ 光環境を変更

結果と考察 (少花粉ヒノキ)



苗木生産者への支援

研究成果等を基に、新規にコンテナ苗生産に取り組む方々に集合研修や個別指導・助言などによる支援を行っています

少花粉コンテナ苗生産者支援事業 (R7～)

育苗方法	原苗千本 (集合研修)	原苗五千本 (集合研修+個別指導)
コンテナ直接播種育苗	4者	
セルトレイ播種育苗	1者	2者
支援内容		
集合研修 (3回/年)	①育苗全般 ②播種 ③移植	
個別指導 (4回/年)	①②灌水・病害虫管理 ③越冬、播種 ④移植	



少花粉スギ・ヒノキ
コンテナ苗生産マニュアル
(改訂版)



2024年3月

岡山県農林水産総合センター
森林研究所



コンテナ苗生産マニュアルを作成しました